

豊岡市 出石学校給食センター

兵庫県豊岡市

【贈呈理由】 オール電化の安全かつクリーンな給食センターを実現するヒートポンプ給湯機の導入



豊岡市立出石学校給食センター

兵庫県北部に位置する豊岡市出石町は、城下町として整備され、町割が碁盤の目状であることから、但馬の小京都と呼ばれている。

出石の歴史は古く「古事記」「日本書紀」にも登場する。但馬開発の祖神「天日槍」がこの地を築いたと伝えられている。

名物「出石皿そば」は300年前の江戸中期に、この地に誕生した。また、「出石焼」は、国内でも珍しい白磁を中心とした焼き物である。透き通るように白い磁肌に、浮き彫りや透かし彫りによる精緻な紋様が、国の伝統的工芸品に指定されている。

省エネ、環境負荷低減を図る地球にやさしい学校給食センター

2013年9月に、出石給食センター、但東給食センターの2カ所をひとつに統合し「豊岡市立出石学校給食センター」として新設。市内の小学校11校、中学校2校、特別支援学校1校の生徒へ、より衛生的に質が高く、おいしい給食を届けることができたようになった。

新給食センター設置にあたっては、「省エネ」と「環境負荷の低減」に重点を置き、地球にやさしい学校給食センターとして

建設された。

施設全体のエネルギーや環境負荷を低減するため、高効率ヒートポンプ空調機を導入し、空調機の一部にエコ・アイスを、給湯設備には大容量業務用エコキュートを採用して、最大電力の抑制とランニングコスト低減を実現している。

衛生管理では、電化厨房によるフルドライシステムの導入、二次汚染防止対策として設備、機器の配置や調理の作業工程、作業動線を工夫し、汚染、非汚染が交差しないパススルー方式を取り入れている。

また、給食センターのオープン後は、各機器の運転状況を調査し、業務用ヒートポンプ給湯機の運転を昼間のピーク時に抑制するよう変更するなど、電力負荷の標準化にも積極的に取り組んでいる。

地産地消を推進する「食育」の活動拠点として活躍

同センターが、地産地消を推進しながら、豊岡市の学校給食のコンセプトである「安全安心な給食」の提供、「食育」につながる給食づくり、「地域とのつながり、地域を大切にする」給食づくりを通じて、これまで以上に、子どもたちの喜ぶ健康的でお



業務用エコキュート



貯湯槽

いしい給食を提供していくことが期待されている。

豊岡市立出石学校給食センター

所在地：兵庫県豊岡市出石町水上315
建築設計：(株)エーアンドディー設計企画
建築施工：(株)共栄建設工業
蓄熱設備設計：神戸設備デザイン(株)
蓄熱設備施工：(株)川崎設備
延床面積：1,738㎡
竣工：2013年(新設)

■蓄熱設備概要
業務用エコキュート 74kW×3台[前川製作所]
貯湯槽：25㎡